

令和5年度 学校教育目標 「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

地域に愛され 150年 輝け 丹那の子

経営のCONCEPT 「丹那の人、もの、ことと関わりをもち丹那に誇りと愛着をもつ子」



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和5年4月発行

令和5年度 学校教育目標 「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

校長 土屋 貴俊

7日（金）の入学式では11名の新入生を迎え、全児童数56名のスタートとなりました。式では、緊張しながらもりっぱな態度で参加する新1年生、それを優しく見守る在校生がいて、会場全体が温かな雰囲気になりました。

今年度本校は、創立150年を迎えます。地域の皆様、諸先輩方の思いを大切にしながら、コミュニティ・スクールとして、地域と学校が地域と子供がつながり、誰もが居場所のある学校づくりをさらに発展させていきます。10月13日（金）には、記念式典を計画しています。子供たちが「丹那っ子」として学んだことを発表する場として考えています。多くの保護者や地域の皆様のご参加をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の学校教育目標を「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」としました。挑戦については、引き続き難しそうなことにも未知のことにも恐れず、たくましくそしてしなやかにチャレンジできる子供が育つように全職員で支えていきます。

また、子供たちが挑戦することによって人・こと・もの・学びにつながり、逆につながることで安心して挑戦意欲をもつことができることと思います。今年度は、「挑戦」と「つながる」をキーワードにして子供たちが生き生きと活躍する子供主体の学校づくりを目指します。



始業式での6年生代表児（鳥屋咲七さん）の誓いの言葉で、「昨年度行事を進めていく中でうまくいかなかったときに一人の友達が支えてくれたことがとてもうれしかった」ことや「リーダーとして一人一人と少しでもコミュニケーションを図り、友達をつくり、一人一人の特色を探していきたい」という抱負を全校の子供たちに伝えてくれました。丹那小学校は、少人数クラスのため言葉を発しなくても自分の思いを分かってくれるだろう

と思う子供もいるかもしれませんが、毎日のあいさつや言葉がないとコミュニケーションを図ることは困難です。誰もが安心して生活できる学校、誰にとっても自分らしく活躍できる学校とするために言葉を通してつながっていくことが大切です。今後は、友達の表情から気持ちを汲み取りやすくなると思いますが、自分の言葉で他者とつながっていけるように子供たちを応援していきます。

